

かぜそらぐみ たより

2021年10月28日(木)

運動会楽しかったね

9月から運動会に向けての、ごっこ遊びを楽しんできました。遊びの内容は、普段から子どもたちが遊び、広げている事です。最初は自信がなくて「やりたくない」と言っていた子どもが、周囲の友だちが楽しんでいる姿を見て(やってみようかな...)と思い実際にやってみる、少しできて楽しかったから「やりたい」「たのしい」に変わっていく姿を保育の中で見る事ができました。又眼鏡は夏頃に作って遊んでいたものです。そら組の子どもたちが作っているのを見てかぜ組の子どもたちが真似て「つくりたい!」と言い始めたことがきっかけです。(8月号おたよりに載せてます)子どもたちの様々な思いが詰まった競技となりました。新型コロナのことがあり、たくさんの方に見て頂くことができません。拍手や声援もいつもより少なかったことは残念です。けれど子どもたちは慣れた状況の中、おうちの方に見守られ、良い緊張感の中参加していました。運動会終了後、子どもたちに感想を聞くと「たのしかった」、「はしゃがかった」、「もっとやりたかった」と同じ時間を過ごしても色々な思いがあることに改めて気がさせられました。おうちの方に準備や暖かい見守りをしていただきありがとうございます。

大根が成長中です!

9月中旬にプランターに種を蒔いてから1ヶ月が過ぎました。2~3日で芽が出て、毎日水やりをして、葉もぐんぐんと大きく育ちました。水はコップに2杯程度で...と約束しているのですが「たくさんお水をあげたらおおきくなる!」と思っている子どもは何杯も水をあげて、その結果、土も流れやすくなり、栄養が吸収できずに枯れてしまう...ということもありました。けれど何とか無事にぐんぐん成長し、りっぱな大きな葉が育ち、土からひょっこり白い大根が顔を出してきています。「ちよと白いの見える!」と驚いています。大根も抜いた時どんな表情を見せるのか?! 楽しみです。

運動会後よりぐんと気温が下がったので、より寒さを感じます。それでも散歩や園庭で身体を動かして遊び、楽しんでいる子どもたちです。出掛けた先で木の葉や落ち葉など秋を見つけたいです。

そらぐみ

運動会では、身体を動かすことを喜び、色々な運動あそびに挑戦し、一人ひとりが自信をつけて当日を迎えました。みもらえることでいつもよりエネルギーが出たり、どきどきしたり...子どもたちにとって大きく心の揺れる良い経験だ、たと思います。さて、運動会の後はアントン先生一色でした。突然そらぐみに来たアントン先生からの手紙に喜ぶ反面、「え、かどのせんせいがかいたんやろ母」と現実的な声もあがります。でも、又々丘へ薬草をとりに行き、2回、3回とやりとりし、お返しに野菜をもらおうと、もう初めの疑問はどこへやら、とび上がって「よっしゃー!」「きたー!!」「アントンせんせい、ありがとー!!」と叫ぶ子どもたちでした。そらぐみになって初のクッキングはアントン先生がくれた野菜を使って、おみそ汁の作りです。年長とする包丁クッキングの前段階としてピーラーを使います。注意点を伝えると少し緊張した面持ちで慎重に皮をむいていました。人参、大根、さつまいもとたくさん型抜きを楽しみ、ラップおにぎりも自分の好きな味を選んで作りました。自分たちで作ったものを食べるということに満足そうな姿があり、たくさん取り入れていきたいなと思います。こうして、お話しの世界を保育の中に取り入れたことで、全体が同じ方向を向き、一緒に喜び合いあそびを広げていく面白さや一体感を感じてきました。クッキングの後には「みんなでおれいのおてがみかくてゆのはどう?」と子どもたちから提案があり、後日、大きなクラフト紙にみんなでお手紙を描き、完結。これからもそういった子どもたちの声を丁寧にひろいながら楽しんでいきたいです。又、ここからごっこあそび、塗りあそびにつなげていきたいと考えています。

